

《日本女性学研究会 2024 年 1 月例会》

# 宗教右派とフェミニズム

—バックラッシュの制度化に対抗するために

日時：2024 年 1 月 27 日(土) 13:30~16:30

お話：齊藤正美さん

コメント：牧野良成さん

場所：ドーンセンター4階 大会議室 3

(大阪府立男女共同参画・青少年センター。京阪「天満橋」駅、Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅 ①番出入口から東へ約 350m)

参加費：1000 円 (当日の受付で徴収します。日本女性学研究会会員は無料。)

★参加申込みは 1 月 20 日(土)までに、お名前とご所属(もしあれば)を明記のうえ、下のアドレスをお願いいたします。

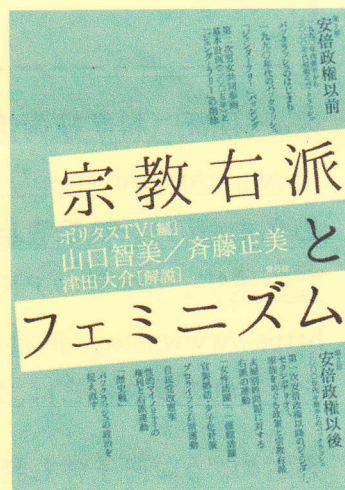
wssj.voice@gmail.com 定員 60 名

当日参加も可能です。ただし、定員に達した場合、締め切らせていただくこともあります。

この例会では、ポリタス TV 編、山口智美・齊藤正美著『宗教右派とフェミニズム』(青弓社 2023 年 1800 円+税)を扱います。同書は、1990 年代から現在に至るまでの男女共同参画や性教育、夫婦別姓、LGBTQ+などへのバックラッシュ(反動)や、それを推進した宗教右派と政治との関係について具体的に論じたものです。

2000 年代のバックラッシュでは、フェミニストはうまく反撃できませんでした。その後は性教育の萎縮、官製婚活の推進、「慰安婦」問題をめぐる「歴史戦」の展開など右派的な政策としてバックラッシュが「制度化」されています。その結果、ジェンダー平等や LGBTQ+の権利保障がなかなか進まず、排外主義が広がっています。特に最近では、トランスジェンダー差別が重要な問題になっています。

当日は、齊藤正美さんに、これまでのバックラッシュの事例を振り返りつつ、それに対するフェミニズムの対応の問題点などを語っていただき、ご参加の皆さまとっしょに、今後のフェミニズムのあり方を考えます。本書をまだ読んでおられない方の参加も歓迎ですが、よろしければお手元に置いたうえで、ご参加ください。当日も何冊か販売するためにご用意しています。



齊藤正美さん：富山大学ほか非常勤講師。メディアとジェンダー、宗教右派、官製婚活などに関する著作多数。フェミニズムへのバックラッシュに関しては、2012 年にも、山口智美さん、荻上チキさんとの共著『社会運動の戸惑い：フェミニズムの「失われた時代」と草の根保守運動』(勁草書房)を刊行されています。

牧野良成さん：大阪大学大学院文学研究科博士後期課程在学。社会運動史、フェミニズム理論を研究されています。

主催：日本女性学研究会 (<http://www.jca.apc.org/wssj/>)



# 『女性学年報』第44号刊行

『女性学年報』第44号が刊行されました。サイズはA4で、92ページです。

定価は800円ですが、日本女性学研究会会員の方が購入される場合や例会の席では、700円で販売させていただきます。

◆中国人随伴・結婚移住女性はなぜ母国向けの「代理購入」を行うのか  
——社会的行為としての側面に着目して

／楊芳溟

◆危機の時代における女性教育構想  
——吉田松陰『武教全書講録』を中心に

／鬼頭孝佳

◆新自由主義とエコロジーへのフェミニズムとその周辺の対応について  
——公私の両領域の高い段階での再統一という観点からの検討

／遠山日出也

◆反抑圧アプローチの視点から迫る軽度知的障害女性の性産業従事  
——当事者の語りから従来の言説の捉え直しへ

／武子愛、児島亜紀子

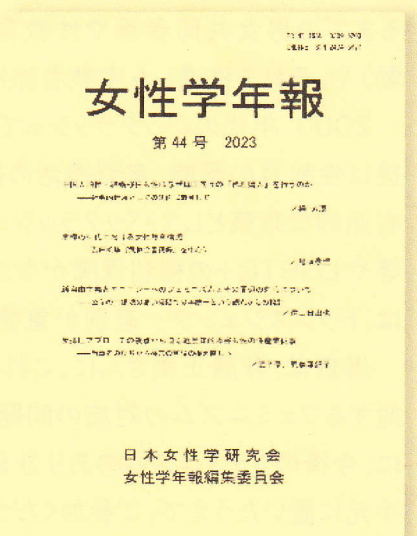
※J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム、<https://www.jstage.jst.go.jp/>）にも、上記以外のページ（『女性学年報』の

めざすもの」「執筆者自己紹介」など）を含む全ページが掲載されています。44号のアドレスは以下です。

[https://www.jstage.jst.go.jp/browse/arws/44/0/\\_contents/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/browse/arws/44/0/_contents/-char/ja)

それぞれの論文などは、タイトルで検索しても出てくるようになります。

※右のような冊子体も発行していますので、購入ご希望の方は、[arws2nd@gmail.com](mailto:arws2nd@gmail.com)（女性学年報第2期編集委員会）までメールをお願いいたします。送料は、1冊の場合、ゆうパケットで250円です。（2冊以上の場合はお問い合わせください）。



表紙はクリーム色です。

日本女性学研究会

『女性学年報』編集委員会